



田村市長 白石高司

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。令和8年が、皆さまにとって健やかで希望に満ち溢れた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げますとともに、日頃より市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に、心より御礼を申し上げます。

本年の干支「丙午」は、人々の行動力が高まり、新しい挑戦や大きな成果につながりやすい年になると言われております。本年は市制施行21年目を迎える年であり、田村市の次の20年をスタートする最初の年となります。この未来に向かい市民の皆さまが築いた歴史を刻み続けていくために、先人が創り上げてきた歴史や伝統、文化を継承して、人と人の信頼の絆を深め、田村市の復興を目

指し、さらなる飛躍ができるよう、決意を新たにしたいと考えております。引き続き、本市の目指すまちの将来像「ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち 田村市」の実現に向けて、安全・安心な、まちに向けた防犯対策補助や自主防災組織の設立に向けた取り組み、昨年完成した農産物振興施設を拠点とした6次化商品の開発などの農業振興、先月オープンした都路町複合商業施設「コラッシュエ都路」を復興の拠点とした生活基盤の安定化と交流人口増加の取り組み、地元工業の活性化を目指すエコノミックガーデニング事業、高い学びに触れる機会を創出する「東大10人構想」などの各種施策を推進してまいります。

また、令和9年1月までに「新たなむら市民病院」の開院を予定しております、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。すべては、誰一人取り残すことなく一人一人の笑顔をつくるため、皆さまの声を推進力として、「よりよい田村市」づくりに向け一歩一歩着実に邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



田村市議会議長 大橋幹一

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より市議会活動に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、地域経済の回復が進む一方で、物価高やエネルギー価格の上昇が市民生活に影響を与え、少子高齢化や人口減少といった課題がより一層顕在化しました。こうした状況は、行政サービスや地域産業に対する新たな対応を求められており、持続可能な地域づくりに向けた取り組みが一段と重要になっております。田村市議会は、市民の声を丁寧に受け止め、政策提言や議会改革に積

極的に取り組んでまいります。議会基本条例の理念に基づき、各種調査・研究を深化させ、議会運営の透明化と効率化を一層進めるとともに、説明責任を果たしてまいります。本年も生活の安心確保、地域経済の活性化、防災・減災対策といった重要課題に取り組むとともに、市民の皆様との対話を大切にしながら、議会と市民、行政が一体となって協働し未来を築いてまいります。議員一同、誠心誠意努める所存です。結びに、本年が皆様にとりまして、笑顔と希望に満ちた飛躍の一年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



全国の舞台上で輝く 船引中学校の生徒たち

★ 駅伝部が県大会初の男女優勝 全国大会で女子7位入賞、男子14位と健闘

陸上駅伝部は昨年10月15日、南相馬市で開かれた福島県中学校体育大会駅伝競走大会で大会史上初の男女優勝を果たし、全国大会への切符を手に入れました。昨年12月14日、滋賀県で開かれた全国中学校駅伝大会に出場し、女子は7位入賞、男子は14位でした。



レース展開(顧問より)

男女ともに積極的なレースを展開し、女子は去年逃した入賞を果たしました。男子も先頭を向うレースを見せ、粘りの走りをしました。

部長から

下重 璃乃部長
三輪 奈槻部長

県大会ではアベック優勝でき、全国大会ではアベック入賞を目標としましたが、全員が練習の成果を出し、走り切れました。1・2年生には来年、全国大会で入賞してほしいです。

★ 吹奏楽部が3年連続で全日本マーチングコンテスト全国大会出場

吹奏楽部は昨年10月5日、秋田県由利本荘市で開かれた第38回全日本マーチングコンテスト東北大会で金賞を受賞し、3年連続全国大会出場を果たしました。昨年11月22日、大阪市の大阪城ホールで開かれた全国大会で、銅賞を受賞しました。



内容(顧問より)

「瑠璃色の地球」「スペイン」など4曲から演目を構成しており、今回からカラーガードの演技を取り入れて、見た目にも華やかな演技に仕上げました。等間隔に整列した隊列移動・隊列変化と演奏の美しさを意識しました。

部長から



横山 佳音部長

全国大会では銅賞となり、目標には届かず悔しい思いをしました。それでも、仲間と積み重ねた練習の成果を大舞台上で出し切り、観客の皆様楽しんでいただけたことは、私たちにあって一生の宝物です。

★ 科学の甲子園ジュニア全国大会出場

昨年8月8日、福島大学で開かれた第13回科学の甲子園ジュニアで、船引中学校が2位となり、本県代表として全国大会出場を決めました。昨年12月13日、兵庫県で開かれた全国大会に出場し、結果は優良賞でした。



代表生徒から

2年 望月 悠叶さん(写真中央)

筆記で私は、「情報」領域を担当して問題を解き、他領域の問題も手助けできました。実技競技は思うように解けませんでした。仲間と協力して取り組みました。20位以内となる優良賞を受賞でき誇りに思います。今後も勉学に励み、高校の「科学の甲子園」で1位を取りたいです。